

# 日本共産党 岡山市政ニュース

発行者 岡山市議団  
 日本共産党  
 岡山市北区大供1丁目1番1号  
 (市議会内)  
 〒700- 電話(086) 803-1707  
 8544  
 一 恵 潤 み し  
 田 正 光  
 竹 永  
 林 中 の ぞ よ  
 田 東 つ  
 No.258 (通266)

## 放課後児童クラブの充実を

平成27年度から放課後児童クラブの施設基準や指導員の資格が法律で公的に定められることになっていきます。対象も6年生までに拡大されます。

市条例の制定にむけ、児童クラブの保護者や指導員が、よりよい基準や資格を求めています。現場のニーズや要望を適切に把握して

反映させるべきです。

党市議団は、基準や資格の管理をどうするのか、予想される入所児童の増加への対応、障がい児対応の質の向上や、施設の確保などについて質問しました。

児童クラブの運営主体が市になることから、施設や資格の管理は市が行うことが検討されています。また学

## 払える国保料に

### 今年も署名活動

8月に開催された第1回国保運営協議会で、今後国保会計に政策繰り入れを行わなかった場合、平成28年度で約4万円も

値上げされる試算が示されました。市当局も本議会で「国保会計の構造上、値上げせざる得ない状況」と答弁しています。

国庫負担を元に戻し、一般会計からの繰り入れを引き続き行って、高すぎる国保料を値下げするよう市民の大署名活動が始まっています。

国が進める国保の広域化も財政構造の根本解決にはなりません。



▲9月18日 市役所前での署名活動

## DV被害者の自立支援 一步前進

岡山市立の母子寮における「DV被害者等自立よりそいサポート事業」が10月から始まります。岡山市の母子寮では全国に比べ入所期間が極端に短く、生活保護等を申請し未就労のまま退所するケースが多くあります。今後、民間支援員による個別の相談・支援を行うことで、就労を含め自立をしっかりとサポートします。市民協働の新たな取り組みがスタートしますが、予算が45万と少なく効果等を検証しながら拡充していくことを求めました。

## 風疹の流行 ストツプ!

請願全会一致で採択!!

風疹の集団予防接種が、1989年に変更され、現在20代〜40代後半までの方に風疹が流行することが当時から予測されてきました。国の責任で当時から対策を日本共産党は求めていました。しかし当時の自公政権は手立てをとらず昨年から流行となつていきます。昨年から流行で先天性風疹症候群の子どもが16人生まれており国の責任を求めると市としても予防接種の推進と助成制度を創設することが早急のぞまれます。

## 私学助成 充実へ意見書

「私学助成施策の充実を求める意見書」と「私学助成の充実と私立高校の実質無償化を求める意見書」が全会

一致で採択されました。意見書では「岡山県では：私立高校生一人当たり支給される助成金の単価は昨年度を下回っており、全国でも最低レベル」と指摘し国や県の対策を求めています。

党市議団は子どもの権利条約で位置づけられている高等教育の無償化を求めています。

## 自民党の内紛?で議会がストップ

9月議会は自民党の2つの会派が名称問題で内紛が表面化。個人質問の冒頭、そのことをもちだした自民党岡山市議団・無所属の会に対し、自民党新風会の和氣議員が「委員会を休んでゴルフをした議員がいる」と発言し議

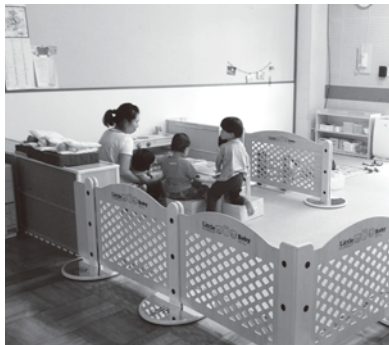
会が空転。我が党市議団は正常化を求めましたが、その和氣議員の発言に対し自民党市議団から懲罰動議が出されました。ゴルフに行つたことは問題ですが、この動議は地方自治法132条の「他人の私生活に渡る言論をしてはならない」に

反するという中身であり、党市議団は懲罰動議に賛成しました。一票差で懲罰動議は否決。次の日の和氣委員長長の総務委員会が開催されても4人の議員が現れず6時間空転しました。結果、委員会運営に対して和氣委員長が謝罪し委員会は再開

閉会日に議長の謝罪で決着しかし冒頭の和氣議員の発言は議事録から削除、市民には何のこともわからぬ無駄な空転となりました。ここまで調整できなかつた議長長の責任も重大です。党市議団はこういうことで議会が空転しないように引き続き市民の立場で議会運営に臨みます。

# 保留児対策急げ!

## 公用地に民間保育園新設決定



▲幼稚園の空き教室活用で明石市視察

鹿田小学校区の市有地に私立認可保育所を新設する予算が本議会に計上されました。2年間限定の国の待機児解消加速化プランを利用するため、市負担は通常の4分の1から12分の1に縮小され、約1500万円です。国の制度を有効に活用し、

約900人いる保留児の解消に全力をあげるべきです。しかし、岡山市は、幼保一体化に固執するあまり、国が示す19事業のうちほとんどを活用出来ていません。それどころか、幼保一体化モデル試行園5園の改修に何億円もかけようとしています。優先順位が違うのではないかと厳しく指摘しました。その他に、公立幼稚園の空き教室を私立保育所の分園にする案が示されています。党市議団は先行実施している明石市を視察しましたが、保留児解消の抜本的解決にはならないと指摘しました。

# 企業は住民の不安に答えるべき

## あたりまえの願いを議会が否決

オハヨー乳業株式会社(中区神下)が、特別高圧受変電設備を設置しようとしていることに関して、地域住民が「電磁波による健康被害から子どもたちを守る会」を立ち上げました。会は「地元住民に対して十分な説明の場を持ち、情報を公開して欲しい」と陳情を提出し、4,295筆も署名を集めました。党市議団は「話し合いの場を設けて欲しい、という声に応えることは当然だ。」として陳情に賛成をしました。ところが総務委員会が自

民党・無所属の会、公明党などから「市には許認可の権限がない」「民間同士の問題に議会が口を挟むべきではない」といった意見が出され、委員会でも本会議でも日本共産党と市民ネットワークだけの賛成で、賛成少数で否決されてしまいました。市の権限に囚われるのではなく、市民の意見を反映するのが議会の役割です。

# 地方税財源の

## 意見書

全国議長会から「地方税財源の充実確保を求める意見書」の要請がありました。会派代表者会議で、日本共産党は、「地方消費税等により」と、「法人市民税の均等割りを増額し」というのは、消費税増税が前提であり、赤字であっても増税される均等割りを上げるのは筋が通らない、と主張。結局、他会派が受け入れ、全会一致で国に意見書を提出することになりました。

### 11月議会日程

- 11月25日(月) 常任委員会
- 11月27日(水) 本会議
- 12月4日(水) 6日(金)
- 9日(月) 代表質問
- 12月4日(水)
- 午後から共産党市議団
- 12月9日(月) 13日(金) 個人質問
- 12月16日(月) 個人質問予備日
- 12月17日(火) 常任委員会
- 12月20日(金) 本会議

### 市民の意見を聞く会

11月1日(金) 13:30  
市役所内にて

## 国の一方的な削減は許せません

市が、職員の給与を平均5.3%削減する条例案を提案しました。市人事委員会が、市職員より民間給与の方が78円高い、と報告した直後でした。国が一方的に地方交付税を15億円も削って7.8%の給与削減を求めてきたのです。地方交付税は自治体の財政力の不均衡を調整し、全国で一定の水準を保つためのものです。また給与は自治体が自主的に決めるものであり国のやりかたは不当です。全国市長会が「今回のよ

うな措置は二度と行わないこと」と国に意見を言っている異例、異常なやり方です。国の要請通りの削減ではなくなり、若い職員への削減率は低くしたものの、係長級で年27万円もの削減になります。この公務員給与の引き下げは民間にも波及し、地域経済に影響しかねません。党市議団は国の理不尽なやり方に応じるべきではない、と議案に反対しました。しかし、他の議員の賛成で引き下げが決まりました。

### 編集後記

岡山市長選挙は史上最低の投票率でした。市民の3人に1人しか投票に行かず当選した大森雅夫氏の得票は全有権者の13.7%でしかありません。公約にも具体策はありません。約にも具体策はありません。選挙中、市民から社会保障の充実を求める声が多く出されました。新市長に対して、市民の声を届けて草の根の運動と論戦に力を尽くします。

## 災害に強い街へ 防災計画見直し

岡山市は防災計画の見直しを行いました。東日本大震災や一昨年の台風12号をうけて、被害予測や住民の自主防災組織のありかたについて明らかにしました。

すでに「市民のひろば」の9月号に津波や洪水のハザードマップと、避難のしかたなどを書いた防災マニュアルを添付し配っています。10月号では地震の揺れやすさマップや液状化現象の危険度マップがつけられます。保存しましょう。また市は学区ごとの防災説明会を今年度中をめどに開く予定です。南海トラフ型地震での死者予測は最大約1,400人です。被害を抑えるのは日頃の備えと地域の助け合いです。

9月議会の補正予算で、新しい消防ヘリの費用10億9千万円が計上されました。現行の「ももたろう」の老朽化が進んだため、平成27年度中に新しいヘリの整備を終える計画です。ただ配備される場所は地震の液状化や津波の被害が予測される岡南飛行場。党市議団は安全な場所にかえることを求めています。



▲更新予定の市消防ヘリ「ももたろう」